



タイトルバックは興隆期における北炭夕張清水の全景を使用しました  
(JCOAL の Instagram より引用)

## ★目次★

### JCOAL 活動報告

- ◆令和元年度 Coal Resources Leaders Programme (CRLP) 事業インドネシアで実施
- ◆インド中央電力庁 (CEA) と JCOAL が MOU を締結

### 国際ニュース

- ◆COP25 閉幕：日本の貢献をメディアはどう報じたか
- ◆豪州：真の勇気を発揮して山火事と戦う炭鉱労働者たち
- ◆豪州：過去における森林火災の規模を比較

### その他レポート／教育等

- ◆JCOAL 業務紹介&インタビュー (総務部\_\_岡部修平さん)
- ◆ミュージカル『ビリー・エリオット』2020 公演 主演キャストが決定
- ◆“炭鉱女子”ブロガーさん紹介\_\_『北の空の炭鉱女』カニデザイン様
- ◆教えて！ニャンコール教授！番外編「石炭のひみつ」英語版を公開

### お知らせ

- ◆第 4 回次世代火力発電 EXPO に出展します
- ◆「石炭基礎講座 2020」開催のご案内
- ◆釧路市立博物館「雄別炭硯閉山 50 年 映像上映会」のご案内
- ◆『石炭データブック COAL Data Book (2018 年版)』好評発売中
- ◆『石炭の開発と利用』好評発売中
- ◆『JCOAL コールバンク』の無料閲覧のお知らせ
- ◆JCOAL 会員募集
- ◆石炭価格動向チャートを更新
- ◆「国際セミナー／会議情報」を更新
- ◆編集後記

JCOAL Magazine 購読 (メール配信) のお申込みは  
[jcoal-magazine@jcoal.or.jp](mailto:jcoal-magazine@jcoal.or.jp) まで E-mail を送信ください



## ■令和元年度 Coal Resources Leaders Programme(CRLP) 事業インドネシアで実施

平成 29 年度にスタートした Coal Resources Leaders Programme (CRLP) 事業は令和元年度で 3 年目となりました。これまでの 2 年間は豪州を研修場所に行なわれましたが、今年度は世界最大の一般炭輸出国であるインドネシアを研修場所としました。

本事業は、JCOAL 会員企業の若手社員を対象に石炭開発や投資事業に従事するリーダーの養成を目的として始められた研修事業です。CRLP (Coal Resources Leaders Programme) という事業名 (以下、CRLP 事業) で JCOAL が企画し、事業実施窓口になっています。石炭関連企業の若手社員は石炭の採掘現場、石炭の利用現場、石炭火力発電所等を実際に見る機会が無く、かねてから JCOAL の会員企業から現場を体験できる研修プログラムを求める要望が JCOAL へ多数寄せられていました。このような状況を踏まえ、豪州 Queensland 州政府の協力を得て、JCOAL は 2 年前に CRLP 事業をスタートしました。以下が、CRLP 事業研修プログラムの具体的な目標です。

- 石炭技術、石炭ビジネス、石炭英語の学習
- 石炭関連施設における研修で、露天掘炭鉱、坑内掘炭鉱、港湾、鉄道、石炭火力発電所等の主要設備の実運用体験
- 参加者と現地石炭関係者との関係構築形成

これまでの CRLP 事業は豪州 Queensland 州政府の支援を受け、主に豪州 Queensland 州の炭鉱を選定し研修を実施しました。今年度は、研修国を変えることにより研修の幅を広めることなどを目的として、研修場所を従来の豪州からインドネシアに変更しました。また、JCOAL と事業協力 MOU を締結し長年信頼関係にあるインドネシア石炭鉱業協会 (ICMA : Indonesian Coal Mining Association、以下「ICMA」と表記) の全面的なサポートが得られ、充実したプログラム構成となりました。

プログラム構成は、専門家による座学研修/実際に炭鉱を見学する現場研修の、2 つから構成されています。これまでの豪州研修では、座学研修 1 週間/現場研修の 1 週間の構成で、現場見学はもちろん、座学による石炭知識のレベルアップと石炭英語の習得も研修目的としており、研修は現地集合・現地解散の構成としています。

研修対象者は JCOAL 会員企業の若手社員を基本としており、これまでの研修プログラムでは石炭開発会社、商社、資源コンサルタント会社、政府機関、政府関連機関からの参加をいただいています。今年度のインドネシアでの研修参加者は商社 3 名、石炭開発会社 1 名、政府関連機関 1 名の総勢 5 名が参加しました。

今回のインドネシアでの CRLP 研修日程と現場研修箇所を以下の図 1 と図 2 に示しました。第 1 日目は座学研修をジャカルタ ICMA オフィスで行いました。その後、ジャカルタから南カリマンタンまで空路にて移動し Adaro 炭鉱を訪問。Adaro 炭鉱では 1 日半の研修の後、Adaro 炭鉱より生産規模は小さいながらも、採掘ピット、石炭輸送専用道路 (Hauling Road)、さらに石炭積込設備 (棧橋 : インドネシアでは Jetty と呼ばれる) が見学可能な Hasnur 炭鉱を訪問し、その後はジャカルタへ戻りインドネシア最大の Suralaya 石炭火力発電所を見学しました。



月/日	訪問先
12/2	座学研修：インドネシア石炭協会 (ICMA) ジャカルタ→南カリマンタン
12/3	Adaro 炭鉱
12/4	Adaro 炭鉱
12/5	Hasnur 炭鉱 南カリマンタン→ジャカルタ
12/6	Suralaya 石炭火力発電所

図 1 研修日程

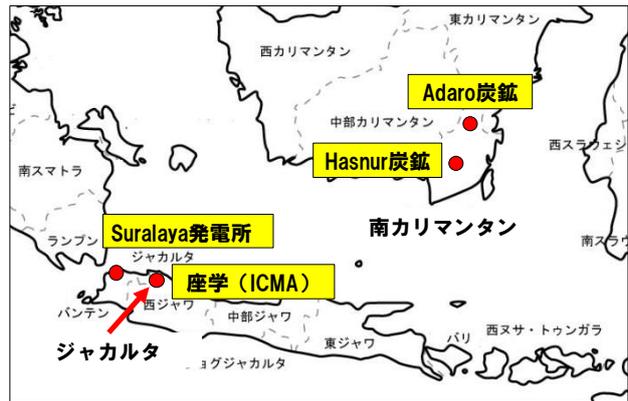


図 2 現場研修箇所

現場研修では、各所一般見学とは異なり長時間に亘る見学を実施しました。また、各所での見学箇所では大変オープンな雰囲気を実施され、細かいところまで質問が可能で参加者の質問に対しても真摯に且つ大変丁寧に答えていただき大変有意義なものになりました。

研修参加者からは、研修日程、訪問箇所の選定、現場見学と質疑応答の時間配分等、研修の構成や内容については『満足が行く』との評価を得ました。特に Adaro 炭鉱と Hasnur 炭鉱を訪問し規模が異なる炭鉱の比較ができて良かったとの声もいただきました。そして『訪問箇所で何が聞けるかが重要なのでその内容を事前に知らせて参加者は質問などその準備を行なうべき』との指摘もあり、今後の参考にさせていただきます。

今年度、初めてインドネシアにおいて CRLP 研修を実施するに当たっては、JCOAL が長年培ってきたインドネシア石炭産業との深い信頼関係により、ICMA を始めとする現地訪問など多くの方々の全面的な協力が得られ、事業を順調に行うことができました。



ICMA オフィスでの座学研修状況



Adaro 炭鉱の研修状況

資源開発部 上原文



## ■インド中央電力庁(CEA)と JCOAL が MOU を締結

JCOAL は、2010 年 4 月にインド中央電力庁（CEA）との間で最初の覚書（MOU）を締結し、以降 CEA との協力を基軸に、石炭火力を電源の主軸としているインドの石炭火力発電所の効率・環境改善のために継続的に取り組んで参りました。

今般、JCOAL 塚本理事長が訪印、CEA との間で第 4 次の MOU の署名を無事行うことができました。

近年、インドではデリー首都圏地域において、農業廃棄物の野焼きによる大気環境悪化対策が緊急課題となっています。同課題に対応する主な対策のひとつとして、インド政府は石炭火力発電所でのバイオマス混焼の政策検討を行い、政府のイニシアティブにより国、州の電力公社を中心に、バイオマス混焼の取り組みが始まっていますが、同分野に関して日本の技術による支援が期待されており、二国間の正式な対話の機会にも電力セクターの重要課題として取り上げられています。



握手する CEA Siwal 火力審議官と塚本理事長

これまで一貫して自国のエネルギー・社会状況に沿った最適電源構成とその一角を担う石炭火力のクリーンな利用を進めて来た両国間の共通認識を確認し、さらに協調を図り、またエネルギー分野での両国の協力関係を深めていく上で一助となることを希望しております。

同締結された MOU の詳細については、下記「JCOAL によるプレスリリース」での記載内容をご参照いただくと幸いです。

### ●JCOAL によるプレスリリース：

<http://www.jcoal.or.jp/news/2019/12/jcoalceacentral-electricity-authoritymemorandum-of-understandingmou.html>

JCOAL によるプレスリリース以外にも、当 MOU 締結に関連するニュースは多くの現地インドメディア各社にて報道されました。下記に各 URL をご紹介させていただきました。ご参照いただくと幸いです。



## ●インドの現地メディア各社におけるニュース

PMINDIA

[https://www.pmindia.gov.in/en/news\\_updates/cabinet-approves-mou-between-india-and-japan-coal-energy-centre-for-cooperation-in-the-field-of-supply-of-electricity/](https://www.pmindia.gov.in/en/news_updates/cabinet-approves-mou-between-india-and-japan-coal-energy-centre-for-cooperation-in-the-field-of-supply-of-electricity/)

BUSINESS STANDARD

[https://www.business-standard.com/article/pti-stories/cabinet-approves-pact-with-japan-coal-energy-centre-119121101146\\_1.html](https://www.business-standard.com/article/pti-stories/cabinet-approves-pact-with-japan-coal-energy-centre-119121101146_1.html)

Outlook THE FULLY LOADED MAGAZINE

<https://www.outlookindia.com/newsscroll/cabinet-approves-pact-with-japan-coal-energy-centre/1683139>

millenniumpost

<http://www.millenniumpost.in/business/cabinet-approves-pact-with-japan-coal-energy-centre-390568>

Devdiscourse

<https://www.devdiscourse.com/article/business/779717-cabinet-approves-pact-with-japan-coal-energy-centre>

Energyworld

<https://energy.economictimes.indiatimes.com/news/power/cabinet-approves-mou-between-india-and-japan-coal-energy-centre-for-cooperation-in-the-field-of-supply-of-electricity/72483581>

domain-b.com

[https://www.domain-b.com/industry/Steel/20191211\\_approves.html](https://www.domain-b.com/industry/Steel/20191211_approves.html)

国際事業部 山田史子

## 国際ニュース

### ■ COP25 閉幕:日本の貢献をメディアはどう報じたか

昨年 12 月に会期が史上最長となった COP25 が、スペイン・マドリッドで閉幕しました。主要課題である「市場メカニズム」は次回 COP26 へと議論が持ち越され、「各国が定める温室効果ガス排出削減の目標の引き上げ」についても、「可能な限り高い野心を」との表現にとどまったことから、世界のメディアは「結果に失望した」というグテーレス国連事務総長のコメントとともに、COP の閉幕を報じました。次回 COP26 は 2020 年英国グラスゴーで 11 月末開催予定とのことです。



COP25 の Twitter 公式アカウント (12/15) より画像引用



あまり日本では報じられませんが、「ロス&ダメージ」に関するワルシャワ国際メカニズム（WIM）の活動のレビューが実施されたことが重要です。現在すでに海面上昇等の影響で被害（ロス&ダメージ）が出ている小島嶼諸国は、このメカニズムの下で被害を補填する資金を求めており、緑の気候基金（GCF）に対しロス&ダメージへの支援を求めましたが、既存の枠組の中で検討を続けることになりました。ロス&ダメージの議論は、原因者（加害者）としての温室効果ガス排出大国（先進国）と、被害を受けている途上国との間のいわゆる南北問題の性格を有しています。米国は1年後のパリ協定離脱を通告しており、過去最大の排出国である米国としては、ロス&ダメージに関して批判される立場にあるWIMから抜け出せることは望ましいこととなります。逆に、途上国からしてみれば、この議論は米国抜きではできず、あくまで条約の下で議論を続けたいということです。COPのように200近い数の国が集まる国際交渉の場は、数か国が反対しただけで合意が成立できなくなるため、大胆な決定をしづらくなっています。

日本でのCOP25に関する報道については、産経新聞（12/25）の「社説検証」が、各紙の主張をまとめています。石炭火力への厳しい批判や電源構成の見直しを求める記事が目立ち、「国際舞台で孤立する日本、批判される日本」が強調される中、産経は「COPの議論は目的よりも手段の方に目を奪われ、石炭を悪者にして糾弾することで満足した感がある」と、会議運営の表面的な議論やその報道を問題視しました。

小泉環境相が感想を述べているように「石炭祭り」と化したCOP25、石炭反対を掲げる派手な抗議活動や化石賞ばかりがクローズアップされたことに対し、疑問を呈する声もあります。東京大学大学院教授の有馬純氏は、グテーレス国連事務総長が「石炭中毒」という表現で石炭を切り捨て、石炭が多くの途上国で基幹電源になっている現状や、安価なエネルギーアクセス、エネルギー安全保障という発想が皆無であることを批判しています。SDGsが17分野にわたっていることからわかるように、地球温暖化だけが世界が抱える問題ではないのです。



（左）マドリッドに集まる No Coal Japan 抗議活動家の様子

<https://www.aljazeera.com/ajimpact/pokemon-protest-activists-cop25-slam-japan-coal-plants-191211212327304.html> より画像引用



（右）化石賞発表の様子  
出典：IISD/ENB

<http://ieei.or.jp/2020/01/opinion200110/> より画像引用

さらに、日本が2回受賞したことで話題をさらった「化石賞」については、環境NGOが経済・雇用・エネルギー安全保障などを考慮せず「温暖化防止」という単一の価値観にのみ基づいて選考していること、また米国、豪州、日本など、EU以外の先進国や産油国が受賞することが多く、中国（最大石炭消費・輸入国）が受賞しないなど、選考基準が恣意的であると有馬氏は指摘しています。国際環境経済研究所・主席研究員の竹内純子氏も化石賞について、「国連の正式なイベントなどではもちろんなく、会場の片隅



の通路で若者が学園祭のようなノリで行っているもの」としています。化石賞を熱心に取材しているのは日本のメディアくらいだそうで、他国での扱いとは大きく違うようです。

同じく日本で話題になったのは、小泉環境大臣のスピーチでした。しかし、スピーチ以外の活動、例えば、議長国チリ、コスタリカ、ブラジル、EU、フランス、ドイツ、南アフリカ、グテーレス国連事務総長などと、のべ 36 回以上ものバイ会談を行い、関係国間の調整を図りメカニズム交渉において重要な役割を果たしたこと、そして閉幕にあたって議長（シュミット・チリ環境大臣）から日本の貢献に対する特別な感謝の意が表明されたことは、ほとんど報じられませんでした。



ブラジルと日本のバイ会談の様子・環境省 Twitter12月13日より画像引用

また、日本は Japan パビリオン、国連 SDGs パビリオン、炭素中立性連合閣僚会合など、多くの公式サイドイベントで、温室効果ガス排出量を 5 年連続で削減している実績や、非政府主体の積極的な取組などを発信しました。例えば Japan パビリオンで開催した「ネット・ゼロカーボンに向けたイノベーションのチャレンジ」では、環境と経済の好循環を達成するためのイノベーション実現をテーマに活発な議論がなされました。こうした日本の取組も、残念ながらほとんど紹介されませんでした。





(左右とも) Japan パビリオンでの様子・環境省の Twitter 公式アカウント (12/11) より  
画像引用

2020 年は、パリ協定スタートの年です。COP が PR 合戦の場になりイメージ戦略が先行している、スローガン頼みになっているという指摘もあります。冷静で現実的な議論と、偏りのない報道を願うばかりです。

[参考サイト]

国際環境経済研究所「COP25 雑感」

<http://ieei.or.jp/2020/01/opinion200110/>

産経新聞「社説検証」

<https://www.sankei.com/column/news/191225/clm1912250005-n1.html>

GEPR「化石賞を有難がっているのは日本くらい」

<http://www.gepr.org/ja/contents/20191226-01/>

環境省「国連気候変動枠組条約第 25 回締約国会議 (COP25) (結果)」

<http://www.env.go.jp/press/files/jp/112952.pdf>

aljazeera「Pokemon protest: Activists at COP25 slam Japan coal plants」

<https://www.aljazeera.com/ajimpact/pokemon-protest-activists-cop25-slam-japan-coal-plants-191211212327304.html>

国際環境経済研究所「COP25 参戦記」

[http://ieei.or.jp/2019/12/takeuchi191213\\_01/](http://ieei.or.jp/2019/12/takeuchi191213_01/)

Japan Pavilion COP25

<http://copjapan.env.go.jp/cop/cop25/index.html>

企画広報部



## ■豪州:真の勇気を発揮して山火事と戦う炭鉱労働者たち

ブッシュファイヤーとよばれる山火事は、オーストラリア人の友好関係、ボランティア活動、隣人への支援活動に積極的に取り組む特性を最大限に引き出しています。これらは炭鉱労働者に必要な資質でもあるので、火と戦う多くの見知らぬ英雄の中に炭鉱労働者がいるのはそれほど驚くことではありません。

オーストラリア東海岸を飲み込んだ火災は、稼働中の炭鉱やその周辺のコミュニティを危険にさらしています。NSW 州にあるセンチニアルコール社のスプリングバール炭鉱では、ピットから 200 メートルにまで接近した火災による煙のため、坑内の空気が悪化して生産を停止しました。火災は、同じくセンチニアルコール社のアンガスプレス炭鉱（メンテナンス中）やクラレンス炭鉱にも近づいています。



過去のニュース「Long bush fire season ahead for Central Qld」から画像引用

グリーンピース・オーストラリア・パシフィックのキャンペーン責任者ジェイミー・ハンソンは、マウント・パイパー発電所とスプリングバール炭鉱での石炭火災に発展する危険性について言及し、「これらのいずれかに引火した場合、数週間燃え続ける可能性があり、非常に有毒な煙を放出し、NSW 州全体ですでに危険なレベルに達している大気汚染をさらに悪化させる可能性がある」と述べています。

一方、炭鉱労働者たちは勇敢に消火活動を行っています。スプリングバールの建設・林業・鉱業およびエネルギー組合長ベン・スミスは、多くのメンバーが山火事に対する消火活動に従事していると述べています。この 3 か月間、地方消防隊や NSW 消防救助隊と共に、常に消火活動に従事してきました。彼らは消火活動について高い技能を持っています。それは、彼らが鉱山救護隊で訓練を受けており、各炭鉱には個々の消防チームもあります。炭鉱機械の運転員は消防救助ブルドーザーを運転して火を押し戻すなど、彼らはどこでも消火活動にあたっていると述べました。

南西地区のグレアム・オズボーン地区会長は、多くの雇用主は炭鉱労働者が火を消すために有給休暇を取ることを支持していますが、一部の請負業者は炭鉱労働者への支払いを拒否したと述べました。消火活動を行っている炭鉱労働者は炭鉱資産も守っています。そして彼らはコミュニティ全体で信じられないほどの仕事をしている、とも述べています。

炭鉱各社は、NSW 州南部海岸の火事で所有する広大な土地を焼かれた South32 社と共に消火活動への支援を行っており、山火事災害への支援のために赤十字を通じて 50 万ドルを寄付しています。South32 社 CEO のグラハム・カーは、これにより 11 月以来、危機に対処する組織への寄付総額が 100 万ドルになったと述べました。

炭鉱会社はまた、煙からの保護のためにフェイスマスクの現物寄付を行っているほか、オーストラリア中の多くのスタッフは、募金を集めや支援のためのボランティア活動をしています。

炭鉱労働者が財産と命を救うという仕事を続けることで、この山火事の危機を通じて彼らがコミュニティの重要な一員であることが改めて示されています。

(2020 年 1 月 10 日 Australia's Mining Monthly の記事を抄訳)

企画広報部



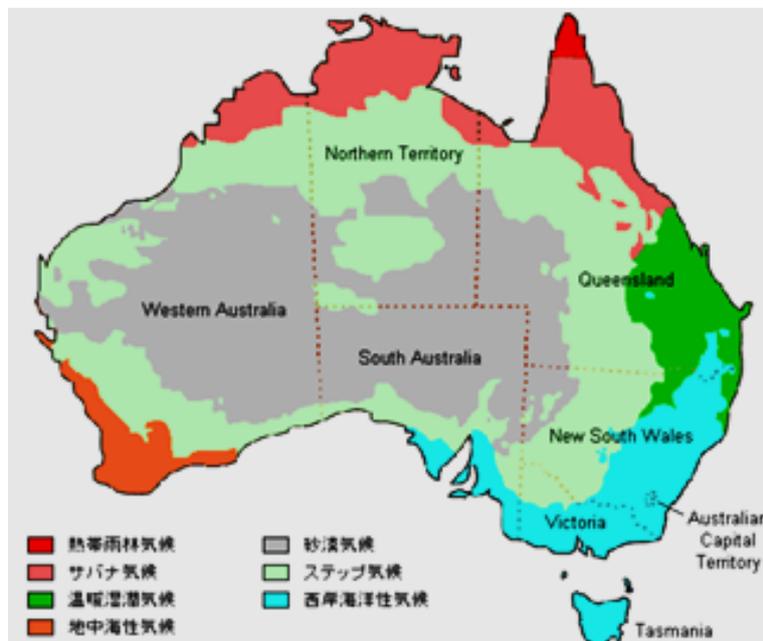
## ■豪州:過去における森林火災の規模を比較

現在も森林火災の終焉が確認できないオーストラリア。2020年1月11日現在における状況を調査しました。オーストラリアでは、夏季において森林火災が起きるリスクがあり、過去にも規模の大きい森林火災が起きています。代表的な規模の大きな森林火災として1983年、2009年、そして現在も鎮火がされていない2019～2020年ものが特に規模が大きく甚大な火災として記録が残されています。

※略語一覧 (SA州:南オーストラリア州/VIC州:ビクトリア州/NSW州:ニューサウスウェールズ州/QLD州:クイーンズランド州/WA州:西オーストラリア州/TAS州:タスマニア州/NT:ノーザンテリトリー)

発生年	該当地域	消失面積	消失面積と類似面積
1983年 2月16日同時多発	SA州南東部、VIC州広範囲	約2,000km <sup>2</sup> (国土の約0.026%)	東京都 (2,193.96 km <sup>2</sup> )に相当
2009年 2月7日～3月14日	VIC州	約4,500km <sup>2</sup> (国土の約0.058%)	山梨県 (4,465.27 km <sup>2</sup> )に相当
2019年9月 (2020年1月現在も鎮火確認できず)	SA州、VIC州(甚大)、NSW州(甚大)、QLD州(甚大)、WA州、TAS州、NT、オーストラリア首都特別地域	約107,000km <sup>2</sup> (国土の約1.39%) ※1月11日現在の予測値	韓国 (100,399 km <sup>2</sup> )より広範囲 日本(377,974 km <sup>2</sup> )のおよそ3割ほど

豪州の夏季においては、乾燥して油分を多く含む森林の存在や落雷などの影響で森林火災が発生していましたが、1983年はそれまでの森林火災で一番大規模なものと記録されています。2009年の森林火災は、1983年の倍を上回る規模となり、そして現在なお鎮火がされない今回の森林火災は過去の規模よりも甚大なものであり、かつ同国土の殆どの州で発生。特にVIC州、NSW州、QLD州など、同国の南東部での被害が甚大です。従来の森林火災の発生が2月が多かったのに対し、今回は9月と(同国の)夏前から発生しています。



豪州気候分布図

<https://www.travel-zentech.jp/world/information/kion/australia.htm>  
(『旅行のとも、ZenTech』より引用)



今年の同国における夏季および乾季は、平均気温を大きく上回り、各地で 46 度を超えるなど観測史上最高気温を記録更新し、熱波が続いています。1 月 15 日には予報どおり雨が降り鎮火に期待が高まるも、乾季で地盤が乾燥している上に火災で焼失した森林の影響で、雨水を吸収できず洪水や鉄砲水などの被害が懸念されています。急に降った雨の湿度で同国特有の（刺されると数分で死に至るような）毒蜘蛛が多く発生する懸念もあります。



下記参考ニュースサイト（AFP BB NEWS）より画像引用  
洪水の中救出されるコアラ

今回の長引く森林火災は（前出の）従来の条件に加え、異常な熱波やインド洋からおきるダイポールモード現象などの気象条件も重なり、同国で森林火災が蔓延してしまう状況となっています。

南半球に位置する同国は（ニュージーランドともども）、北半球とは異なる生物を強く保護する活動を進めているが（基本、北半球での食べ物の持ち込みはできないなど入国審査における検疫分野では、蟻の子一匹たりとも入れないくらいの水際対策を実施中）今まで守っていた生物たちが森林火災で次々と犠牲になっている姿や、オーストラリアを象徴する動物たちが火災の被害にあい絶滅の危機に瀕している様子などは、多くの国民の心を痛めています。

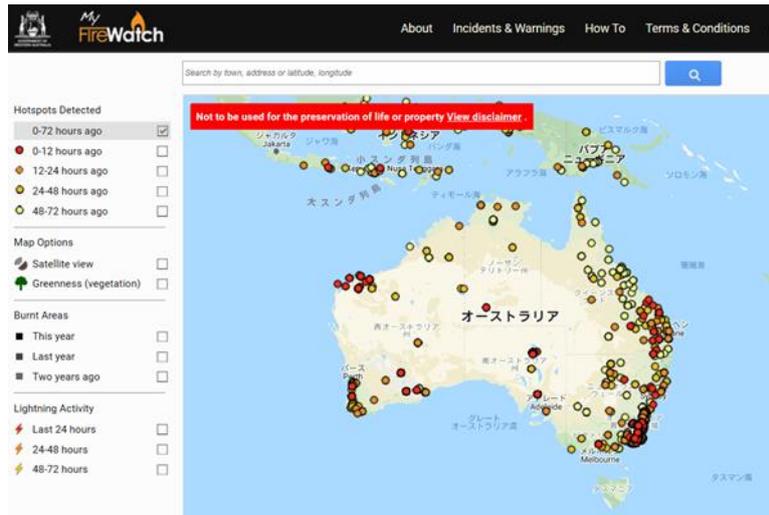
6. すべての食物 - 乾燥、生鮮、保存加工、調味液、未調理等を含む	はい	いいえ
7. 木製品、植物、植物の部分、伝統的な医薬品、薬用・食用および香辛料の草本植物、種子、球根、茎、ナッツ類など	はい	いいえ
8. 器具、卵、バイオテクノロジー製品、標本、鳥、魚、昆虫、貝殻、蛙製品、ペットフードを含む、動物、動物の体や毛の一部、およびそれらを使用した動物製品	はい	いいえ
9. 土、またはたとえばスポーツ用品、靴などのように土の付着した物品	はい	いいえ
▶10. 過去30日以内にオーストラリア以外の国で農業地域を訪れた、または家畜に触ったりその近くに行きましたか？	はい	いいえ
▶11. 過去6日以内にアフリカ、または南米に行きましたか？	はい	いいえ

#### 豪州の入国審査カードの質問事項（和文）

判断のつかない疑わしいものは全て没収、「申告漏れが判明した場合は罰する」などの文言は空港のあちこちで見られます。同国の生態系に影響の可能性のあるものは徹底的に排除するなど保護活動が活発です。

そのような国民感情も相まって、いち早く森林環境および環境・気候変動対策を待望する国民は多数を占めています。同国のスコット・モリソン首相は 9 月からの今回の火災に対し 11 月になりようやく火災被害対策を実施したタイムラグや、1 月にハワイへ休暇で訪れたことなどに批判の声が多く出ています。かねてから石炭産業を支持している同首相ですが、1 月 16 日に石炭産業支持を発表したことに対しても気候変動対策の怠慢だと批判の声が高まり、支持率急落の影響が出ている模様です。





(図) 豪州の 72 時間以内における森林火災や落雷箇所を参照できるサイトがあります (サイト「My Fire Watch」より 1 月 27 日チェック分を引用・添付)。

<https://myfirewatch.landgate.wa.gov.au/map.html>

同サイトの使い方 (スキマフルより引用) <https://sukimafull.com/australiafiremap/>

## [参考にしたニュース等]

- 1983 年オーストラリア森林火災 (Wikipedia)  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/1983年オーストラリア森林火災>
- 2009 年ビクトリア州森林火災 (Wikipedia)  
<https://ja.wikipedia.org/wiki/2009年ビクトリア州森林火災>
- オーストラリア森林火災 (2019 年-2020 年) (Wikipedia)  
[https://ja.wikipedia.org/wiki/オーストラリア森林火災\\_\(2019年-2020年\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/オーストラリア森林火災_(2019年-2020年))
- インド洋ダイポールモード現象 豪の森林火災と日本の暖冬 (Yahoo ニュース気象予報士寄稿記事)  
<https://news.yahoo.co.jp/byline/katayamayukiko/20191208-00154024/>
- 今度は大砂嵐に巨大ひょうが直撃、森林火災で疲弊した豪東部 (AFP BB NEWS)  
[https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200120-00000028-jji\\_afp-sctch](https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200120-00000028-jji_afp-sctch)
- オーストラリア首相、火災対応不満で支持率急落 (サンケイビズ)  
<http://www.sankeibiz.jp/macro/news/200124/mcb2001240500011-n1.htm>
- 森林火災続くオーストラリアに待望の大雨、新たな災害の恐れも (CNN.co.jp)  
<https://www.cnn.co.jp/world/35148139.html>
- 豪東部に雨や雷雨、森林火災が鎮火 一部地域では洪水も (AFP BB NEWS)  
[https://www.afpbb.com/articles/-/3264075?cx\\_part=logly](https://www.afpbb.com/articles/-/3264075?cx_part=logly)
- 豪コアラ災難、森林火災の脅威が一転ずぶぬれ 洪水の危機 (AFP BB NEWS)  
[https://www.afpbb.com/articles/-/3263975?cx\\_part=logly](https://www.afpbb.com/articles/-/3263975?cx_part=logly)
- 世界の週ごとの異常気象 (気象庁)  
<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/weekly/>
- 「オーストラリア火災」がここまで悪化した理由 (東洋経済オンライン)  
<https://toyokeizai.net/articles/-/323225>
- モリソン首相、石炭産業継続支持を明らかにする (日豪プレス)  
<https://nichigopress.jp/ausnews/politics/194043/>
- 暑い夏とインド洋ダイポールモード現象 (海洋研究開発機構)  
<http://www.jamstec.go.jp/apl/i/column/20170802/>
- オーストラリアの森林火災後には、ネコが生態系の破壊を加速する (WIRERD)  
<https://wired.jp/2020/01/19/cats-australia-bushfires/>

企画広報部

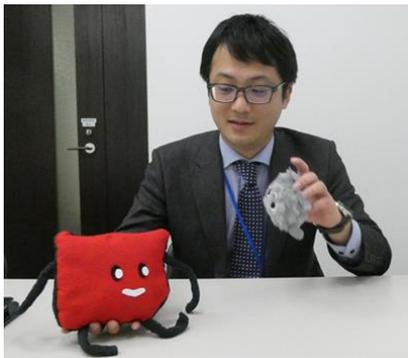


## ■ JCOAL 業務紹介 & インタビュー(総務部\_岡部修平さん)

JCOAL がどんな活動をしているのか、JCOAL スタッフにインタビューする第 7 弾。今月は総務部の岡部修平さんです。インタビューアは、今回もアッシュ君にしてみました



今回もぼくがインタビューするよ！



アッシュ君をつかむ岡部さん

- 「自己紹介をお願いします」

名前は岡部修平（おかべしゅうへい）と言います。

**特に意味を背景に考えられた名前ではないみたいです。でも、字画的には運気が良いようです。**

- 「“結果として吉” っていうのは意図してもなかなか出来ないことだし、とてもラッキーな気がする。運も味方に取り入れているイメージ！」

生まれは宮崎県で、小学校の高学年で佐賀県に引っ越し。大学は福岡の大学に通い、JCOAL 入社と共に東京（方面）に居ます

- 「“がばい（佐賀）” で “いっちゃんが（宮崎）” な九州男児なんだね！（これ、合ってるかな？）」

**入社してからは大学で学んでいた事とは異なる分野ではあるけれども、幅広く業務に就いています。**

- 「大学ではどんなことをしていたの？」

褐炭の改質（高品質化）に関する研究をしていました。

- 「入社してからはどんなことをしていたの？」

2011 年 4 月入社した当初はクリーン・コール・デー国際会議やエコプロなどに関する業務に従事。

翌年 2012 年に総務の業務に従事。

翌年 2013 年に主にベトナムに対し石炭に関わる渉外業務に従事。

2017 年～2018 年の 2 年間は経営戦略や広報戦略に関わる業務に従事。

現在（2019 年度から）は再び、総務の業務全般に従事しています。



部内のお仕事でお邪魔して撮影



**上司に言われた「岡部君はスペシャリスト(特定分野の専門家)タイプと言うより、ジェネラリストタイプ(広範囲の知識・技術・経験を有する人)だね」と言われ、今までモヤモヤとしていた悩みが一気に腑に落ちたような気持ちになりました**

- 「やってきた仕事の中で、得意・不得意という分野はあったのかな？」  
それなんだけれども、広く浅く仕事をしているのではないかと漠然と悩んでいた時期もあったけれども、当時の上司にこう言われたことで自分について知ることが出来たというか、この言葉のおかげで気が楽になったんです。
- 「確かに。自分が得意だと思っても、その仕事に向いているかどうかしているのはなかなか自分だけで理解するのが難しいよね」



総務部長の大奥さんと  
難しいお話でしょうか？

**入社契機となったのは、大学構内で開催された JCOAL の会社説明会。職員の方の話聞き「これからの石炭の可能性」に惹かれたことです。強く感銘を受け入社を希望しました。**

- 「これはどんな時に聞いたのですか？」  
当時、褐炭に関する分野の研究をしていたのだけれども、就職先は必ずしも石炭産業に就きたいというこだわりまでは無かったんだ。でも(職員の)話を聞いていくうちに石炭の将来性・可能性を感じて。何より話がとても興味深くおもしろかった。こんな会社で働きたいと希望を持つようになったんだ。
- 「その会社説明会はどれくらいの人数が参加されていたの？」  
実は、他に人気のある説明会と時間が重なり、参加者は僕を含め 3 人
- 「3 人！それは“説明会”というより“濃密な相談会”みたいで、ある意味贅沢だね！」  
しかもその 3 人のうち、1 人は僕の知り合いで他社に就職したけれども、僕と、もう 1 人が同期の中野君(総務部)だったんだ！
- 「すごい！中野さんと岡部さんの強い運命すら感じるよ！そして 3 名中 2 名が就職するだなんて！  
敏腕過ぎるプレゼンターだね！」  
その説明をしに来たのが、技術開発部長の富田さんなんだ。
- 「あ(なるほど！納得！(笑)) …」



総務部長の大奥さんと  
打ち合わせの合間にも和気藹々(わきあいあい)です



**入社のかっかけや、自分の仕事に対してなど、先輩の話や言葉が、人生の岐路になっている事が多かったように思います。**

- 「(先輩職員の) 何気ない言葉だったとしても、自分のヒントに取り入れる問題意識があるから、色々な人の言葉に注意して耳を傾ける真剣な姿勢でいるのも、相手が話しやすくなるんだよね」意識的に先輩職員に相談を持ち掛けていた訳ではないのですが、これからの僕の人生にヒントになるような言葉を沢山もらえているような気がします。



岡部さん、工作中的のスナップ

- 「今、総務部として仕事をする上で何か気を付けている・意識していることってある？」  
**所属して仕事する上で一方的に“正論”を武器に相手を責めてしまわないように気を付けるよう、心がけています。**

- 「というと？」

物事に対して「正しい事」を強く言うことは、必ずしも「正解」に結び付くとは限らないと思っています。また、その言葉は時として人を傷つけたり(自分の)姿勢が攻撃的だと捉われたりすることになり、コミュニケーションを阻害してしまうことにもつながってしまいます。ですから、そうはならないように意識をしています。



総務のみなさんと  
気さくに写真撮影に応じていただき総務のみなさん、ありがとうございました



- 「今後、お仕事の目標があれば教えてください」

**職員の方が業務効率化を図れるような、より良い仕事環境の構築を目指しています。トレーサビリティ(業務履歴やその追跡)の効率化や修繕、新たなルール作りなどの整備などに取り組んでいます。**

- 「具体的にはどんなことをしたの？」

JCOAL 内の IT 担当でもあるのだけれども、デスクトップ型やノート型、購入時期も異なっていた PC を、今年全員分を一斉に入れ替えました。

内部統制関連として今年は社内規定の棚卸しを実施、内容の見直し、改訂・更新を開始しています。紙については“ペーパーレス化”を図り、単にコピー用紙の使用を減らすというのではなく、可能なものは極力電子化を促進するなど、業務効率化につなげたいと考えています。

- 「ローマの道は一日にしてならず” じゃないけれど、とても労力と時間のかかる作業で大変だね」

- 「でも、ぼくもみんなも総務的にわからないことがあったら直ぐに聞きにいくくらい、頼りにしているよ。これからも頑張ってるね！」



コール君とアッシュ君とともにパシャリ  
今日イチの笑顔いただきました

### 【取材を終えたアッシュ君（の中の人）より】

プライベートでは、体力をつけたいと言っていた岡部さん。さらに、お隣さんと家族ぐるみのお付き合いをされているようで、その際にみんなで頭を使う系のアナログなゲームをして楽しむ時間はとても充実するのだそうです。

ゲームと聞いて、すぐに「勝ち」「負け」と思ってしまった自分ですが、勝つことの爽快感というより、人とのんびり交流しゲームをされることが楽しさにつながっていると聞いて、自分に欠けていたものを感じちょっと恥ずかしくなっていました。

お子さんはちょうどわんぱくな盛りようで、お子さんと外でいっぱい走り回りたいたいとおっしゃっていました。

総務的な（業務をする上での）不明点も、以前お仕事されていたことも、聞きに行くと丁寧に説明をいただけるので、他の方から「解らないことがあればまずは岡部さんに相談」という回答をもらう事もしばしば。

私も岡部さんのようにスマートに仕事をしてみたいのですが、なかなか…うまく行かず（笑）。みんなに頼りにされる岡部さんのお話はいかがでしたでしょうか？また次号もお楽しみに！

企画広報部



## ■ミュージカル「ビリー・エリオット～リトル・ダンサー～」2020 年公演で主人公キャストが決定

先月の JCOAL マガジン 12 月号 (<http://www.jcoal.or.jp/newspdf/JM-245.pdf>) からの続報です。今回はビリー・エリオットプリンシパルキャスト決定をお知らせしましたが、今回は主人公ビリー・エリオット役を務める少年 4 名が決定しました。

本作の主演ビリーを演じる少年には歌や演技に加えバレエ、タップ、ジャズなどあらゆるダンス技術が求められるため、約 1 年にわたる厳しいオーディションの末、応募総数 1511 名の中から海外クリエイティブチームが太鼓判を押す 4 名のビリー役の少年が選ばれたとのこと。主演の座を手にした少年 4 名は、それぞれ異なる個性を持ち新たなビリー・エリオットが今夏誕生します。選ばれた少年のプロフィールや特技、コメントは下記公式ホームページに掲載されております。

1984 年、炭鉱労働者たちのストライキに揺れるイギリス北部の町ダラムが舞台。11 歳の少年ビリーがバレエダンサーになる夢に向かい突き進む姿、家族との軋轢、亡き母親への想い、祖母の温かい応援。度重なる苦難を乗り越えながら、ビリーの夢は家族全員の夢となり、やがて街全体の夢となっていく・・・そんな炭鉱で育った少年が夢を叶えるストーリー、ミュージカル『ビリー・エリオット（原題：Billy Elliot the Musical）』。2017 年の公演では JCOAL Magazine で宣伝・応援していました。今回の再演も JCOAL Magazine で宣伝・応援しており、随時更新される情報をお届けします。

大ヒットミュージカル『ビリー・エリオット ～リトル・ダンサー～』2020 年公演で主人公 ビリー・エリオット役を務める 4 人の少年が決定！

(公式ホームページのプレスリリースより) <https://horipro-stage.jp/pickup/billy20191224/>



左より)川口 調、利田太一、中村海琉、渡部出日寿

(上記公式サイトより画像引用)

企画広報部



## ■ “炭鉱女子”ブロガーさん紹介\_\_「北の空の炭鉱女」カニデザイン様

日々、『石炭について少しでも興味を持ってもらえたら』という気持ちで、効果的な広報活動とは！を、日々試行錯誤をする我々なのですが…ある日、『炭鉱が好き』、いや『炭鉱が大好き！』と声を大にしているブログを発見した！との情報が入り、早速そのブログを拝見。炭鉱についてとても丁寧な説明と、『自分がどれだけ炭鉱が好きか』という情熱にあふれた内容が、日々綴られていました。

そのブログは、筆者カニデザイン様による『北の空の炭鉱女』<https://yamaonna.hateblo.jp/> です。もともとは札幌出身の方のようですが、好きすぎて「炭鉱のあるまちに住みたい」という思いを、空知地方の赤平に移住し実現されたようです。

炭鉱好きなブログの始まりは…

『私はとにかく炭鉱が好きなんだ――っ！！』(2019年1月30日更新)

<https://yamaonna.hateblo.jp/entry/2019/01/30/172518>



ブログ筆者のカニデザイン様後ろ姿  
(上記ブログ掲載より引用)



まるで時が止まったような設備の数々も  
取り上げられています  
(上記ブログ掲載より引用)

特に印象的なのは、事前学習や知識がなくとも、臆することなく「気軽に炭鉱に行こうよ！」と呼び掛けているところ。かつ、ご自身が炭鉱巡りを始めた当初、思い立って軽装で行く事もあったなどのエピソードも披露されております。“思い立ったら吉日”というフットワークの良さに、こちら背中を押されているような感じになりました。

『炭鉱は見るものではない。感じるものだ。』(2019年1月30日更新)

<https://yamaonna.hateblo.jp/entry/2019/02/24/162219>

こちらでは“炭鉱”を丁寧に説明されています。立坑やぐら／坑口(こうぐち)／(炭坑内の)建物や機械／(炭鉱従事する人のための)炭鉱住宅等々、その全部が『炭鉱』であるんだよと、ご自身が撮影された写真とともに、解りやすく説明がされています。画像つきで解りやすく炭鉱の構成を説明されているものは、実はあまり多くないので「おお！これなら見やすい！」「すごく解りやすい！」と、石炭普及活動をする我々にとっては、とても勉強にもなっています。





ブログ筆者でもあるカニデザイン様撮影  
住友赤平炭鉱（上記ブログ掲載より引用）



“炭鉱特融の食文化”として赤平「寿司の松川」  
の「がんがん鍋」もご紹介されています。  
（上記ブログ掲載より引用）

筆者のカニデザイン様が移住されている赤平の炭鉱を始めに、夕張／岩見沢／三笠／歌志内／美唄の炭鉱も、それぞれ地理的概要などと共に魅力がつづられています。北海道以外炭鉱として、ドイツの炭鉱もあげられています。最近話題の『炭鉄港』が日本遺産になったなどの最新情報も更新。かつては炭鉱従事者の方も食べたであろう料理や、炭鉱のまちのグルメも紹介されており、見ているだけでもおいしそうで食べたくなります。

日々、彼女のブログ更新が楽しみになってしまったので「JCOAL Magazine で紹介したい」と掲載許諾を連絡したら快諾していただきました。炭鉱をよくご存じの方も、まだ炭鉱をよく知らないという方も、こちらのブログには「炭鉱ってこんなに楽しいんだ！」っていう世界が広がっており、一読の価値は大有りです！

「好き」ってことは「楽しい！」という事、というダイナミックな勢いと、ちゃんと整理された炭鉱の各分野を知ることができます。赤平には行った事ないのですが、行ったような錯覚になります。いつか行ってみたいなとも思います。



『北の空の炭鉱女』ブログ トップページバナー  
『北の空の炭鉱女』ブログサイト：<https://yamaonna.hateblo.jp/>

企画広報部



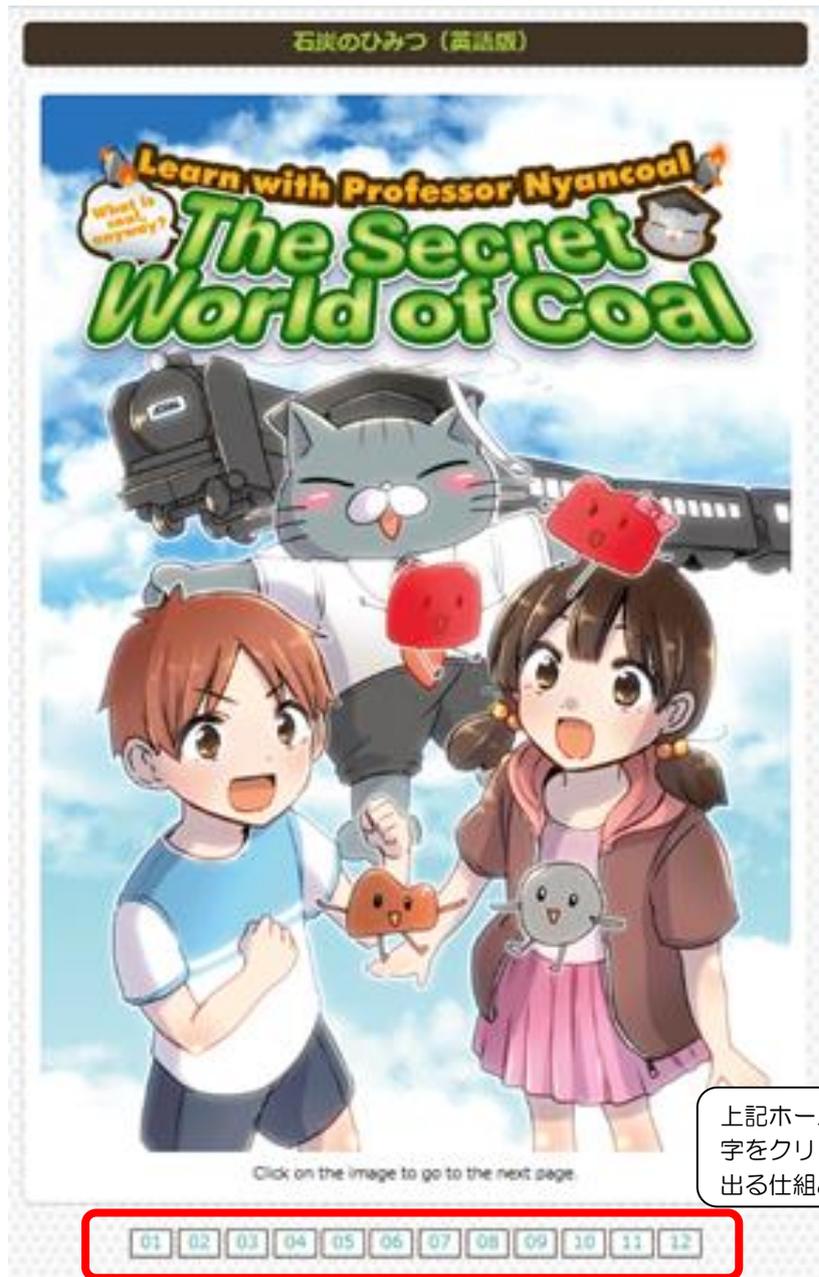
## ■ 教えて！ニャンコール教授！番外編「石炭のひみつ」英語版を公開



JCOAL Magazine 242 号 (2019 年 9 月 25 日) 発行号の、教えて！ニャンコール教授「石炭を、まんが教材でご紹介」<http://www.jcoal.or.jp/newspdf/JM-242.pdf>でもお知らせしておる石炭のまんが教本。

こどもだけでなく、大人にも『解りやすい』と好評だったのじゃが、今回英語版をリリースしたぞい。

JCOAL のホームページ [http://www.jcoal.or.jp/intern/resource/secret\\_EN/](http://www.jcoal.or.jp/intern/resource/secret_EN/)からも閲覧が可能になっておるぞ。



石炭を紹介するまんが教材の英語版をつくりました。イベントなどでは A5 判の冊子版を配布しております。皆様も上記サイトより、お読みいただけると幸いです。是非、ご意見お待ちしております。



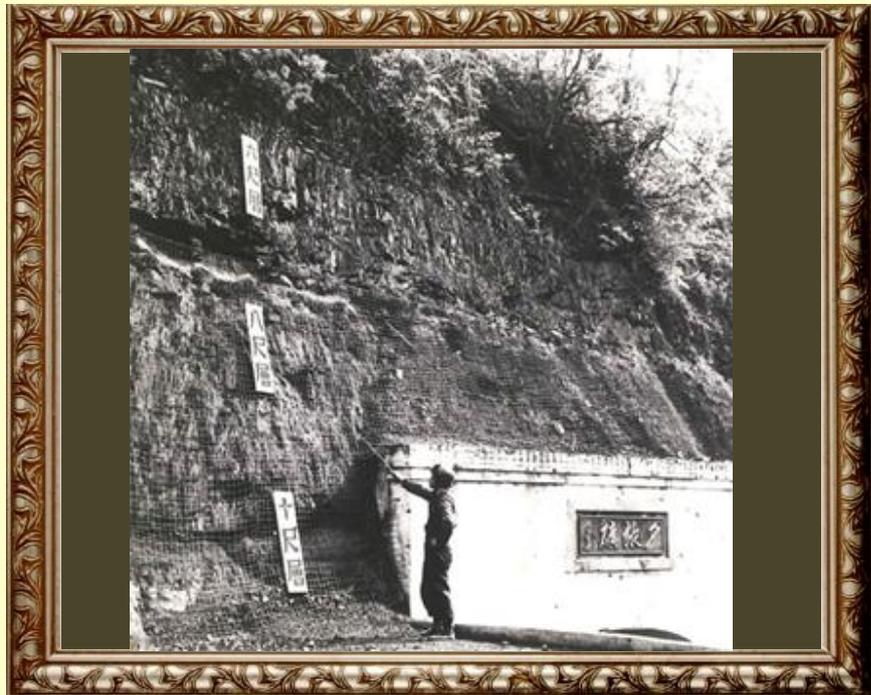


## ニャンコール教授のひとこと

エコプロ 2019 出展で、回答を貰ったアンケートや学生向けクイズの感想欄では、石炭に関するイメージを様々なご意見をいただいております。思っている以上に、たくさんの方々が丁寧に色々書いてくれており 1 件 1 件大切に読ませてもらっております。アンケートの結果および来訪者の方々が感じていることなどは、次号丁寧にまとめて報告したいです。

「教えて！ニャンコール教授」のコーナーでは、みなさんからの質問を受け付けております。どんなことでも、ニャンコール教授が答えます！ページ下記までご連絡お待ちしております。

## ～炭鉱アーカイブス～



JCOAL の Instagram よりご紹介。  
今回の写真は『北炭夕張炭鉱 炭層の露頭』です。  
★JCOAL の Instagram では日本各地の炭鉱の写真を紹介しています★



**お知らせ**

## **第 4 回次世代火力発電 EXPO に出展します**

2月26日から開催されるスマートエネルギーWeek2020では8つのEXPOが同時開催され、そのうちの1つ『第4回次世代火力発電 EXPO』にJCOALは協賛をしております、かつ出展をいたします。クリーンな日本の石炭利用技術、石炭灰のリサイクル利用、エネルギー資源についてブースで紹介いたします。スマートエネルギーWeek2020の各EXPOおよび火力発電 EXPOは商談のための展示会とされており(18歳未満の方の入場をお断り)、発電システム・設備のメーカー様が多く来社される機会となります。石炭実物のディスプレイはもちろん、フライアッシュやクリンカアッシュなどの実物のディスプレイやリサイクルによる石炭灰利用技術、JCOALが取り組むクリーンコールテクノロジー支援や、環境対策など広く知っていただくブースにする予定です。

- 日程：2020年2月26日(水)～28日(金) 10:00～18:00(最終日のみ17:00まで)
  - 会場：東京ビッグサイト 西展示棟
  - 入場料：無料(事前登録・招待券制)(※招待券をお持ちでない方は5,000円の入場料)
  - 主催：リード エグジビション ジャパン株式会社
- 第4回次世代火力発電 EXPO(公式ホームページ)：<https://www.thermal-power.jp/ja-jp.html>  
JCOALブースの紹介：<https://d.wsew.jp/ja/Expo/6850597/JCOAL>

皆様のお越しをお待ちしております。



昨年の火力発電 EXPO のブース



## 「石炭基礎講座 2020」開催のご案内

これから石炭について学んでいこうとしている若手社員を主な対象として、JCOAL の主催の「石炭基礎講座」を昨年に引き続き本年も開催致します。一般の方々でも石炭について学べるよい機会を提供すべく準備を進めております。同基礎講座の後に意見交換会も開催予定しております。

詳細は JCOAL ホームページ <http://www.jcoal.or.jp/> にて、随時お知らせいたします。よろしくお願いたします。

日程：令和 2 年 3 月 19 日(木) 9:30~17:30

会場：日赤サービス 201 会議室

(所在地：東京都港区芝大門 1 丁目 1 番 3 号 日本赤十字社ビル 2 階/TEL:03-3437-7514)

会費：会員企業の方：4,000 円(税込) / 一般の方：5,000 円(税込)

開催詳細/お申し込み：JCOAL ホームページ (<http://www.jcoal.or.jp/>) にてお知らせ予定です。

## 釧路市立博物館「雄別炭砒閉山50年 映像上映会」のご案内

今年は釧路炭田を中心に炭鉱を経営していた雄別炭砒株式会社が3炭鉱(雄別・尺別・上茶路)を閉山から50年となります。釧路市立博物館では令和元年12月~令和3年2月にかけて、雄別炭砒(雄別・尺別・上茶路)をテーマとした企画展を予定しています。そのプレ行事として、記録映像の上映会を開催します。また、雄別炭鉱に関する資料・写真など収集しております。お心当たりのある方は、釧路市立博物館(下記サイトの博物館連絡先)にまでご連絡をしていただくと幸いです。

日程：令和 2 年 2 月 29 日(土) 13:30~16:00

会場：釧路市立博物館 講堂

会費：無料/事前申込不要です

開催詳細：釧路市立博物館ホームページ内行事ご案内にてお知らせ

<https://www.city.kushiro.lg.jp/museum/gyouji/2019/y-movie.html>



## 「石炭データブック COAL Data Book(2018 年版)」好評発売中

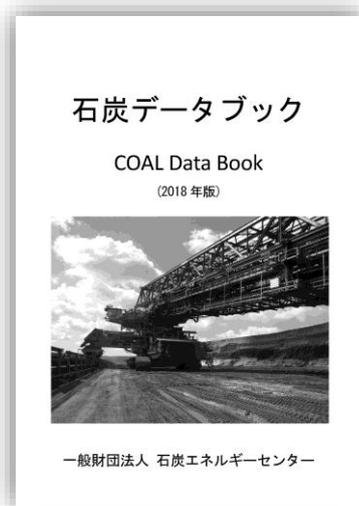
JCOAL では「コール・ノート」に変わる石炭専門のデータ本として、昨年『石炭データブック COAL Data Book (2017 年版)』を刊行。この度、2018 年の最新データにて更新した『石炭データブック COAL Data Book (2018 年版)』の発売をしております。

2017 年版に引き続き、石炭の世界の埋蔵量、生産量、消費量および石炭に関する各国の状況をデータ中心にまとめております。主要産炭国の基本情報や政策、電力事情等の情報も更新しております。

この機会にぜひお買い求め頂けると幸いです（購入方法および各項目の詳細は、下記 URL をご参照ください）。

版型\_A5 版 / 定価\_2,500 円+税

販売中（下記サイトより購入方法をご参照ください）



<http://www.jcoal.or.jp/publication/coalDataBook/2018.html>

## 「石炭の開発と利用」好評発売中

石炭の上流部門から下流部門までの基本的なノウハウを図や写真などを交え、専門的な技術をわかりやすく記述した書籍となっております。

『石炭とは何か?』『どうやってできたのか?』から始まり、『石炭採掘方法から販売まで』『クリーンコールテクノロジー』『環境への配慮は?』等、石炭について知りたい情報を読みやすくまとめました。一般の方から専門家まで、この機会にぜひお読み頂けると幸いです。

版型\_A5 版 (183 ページ) / 定価\_3,000 円+税

販売中（下記サイトより購入方法をご参照ください）



<http://www.jcoal.or.jp/publication/coalDevelopment/development.html>



## 『JCOAL コールバンク』の無料閲覧のお知らせ

JCOAL コールバンクは、もうご覧になりましたか？

(一部データは事前連絡が必要ですが) 基本は無料で参照可能となっております。

※『Internet Explorer』では参照がエラーになる場合もありますが、『Google Chrome』だと参照可能となる事もあります (Google Chrome は無料でダウンロード可能となっております)。

まずは<http://www.jcoal.or.jp/coalbank/>をインターネットで参照すると以下のページが出ます。

一般財団法人 石炭エネルギーセンター  
Japan Coal Energy Center

home

JCOALについて  
about

JCOALの事業  
work

入札・公募  
tender

石炭について学ぶ  
study

コールデータバンク  
data 会員専用

石炭灰  
coal ash

書籍・刊行物  
book

採用情報  
recruit

会員さまへ  
member

JCOAL コールバンク  
(石炭の産地・性状データベース)

JCOALでは、NEDOからの委託を受けて企業や大学・研究機関等のCCT開発やCCT事業化を効率的に支援することを目的として、世界各国の石炭に関する品質、特性等のデータを管理し、情報および実サンプルを提供する「JCOALコールバンク」を開発し、2018年4月から新運用を開始しています。

- JCOALコールバンクの特徴は以下のとおりです。
  - 無煙炭、遼青炭、亜遼青炭、褐炭まで世界中の100を超える様々な炭種が登録されています。
  - データの分析はJCOALの責任の元で実施しております。
  - データの閲覧は無料です。
  - 登録石炭の実サンプル提供が可能です。(有償)
- 想定される活用事例
  - 石炭調達の際、産炭地の炭種を概観するのに利用。
  - 複数の研究機関が共通のサンプル炭で試験することにより、試験結果や試験条件の違いに焦点を絞った比較検討や議論

-中略-

委員 寺前 剛 (山形大学 環境研究所 主任研究員 (環境技術担当))  
委員 木本 政義 委員 (一般財団法人 電力中央研究所 エネルギー技術研究所 火力運用保守領域 上席研究員)

- JCOALコールバンクに登録している石炭のほとんどは、厳重に密封された状態で保管されています。20g程度のサンプル提供が可能ですので、ご希望の方は[こちらのE-mail](#)よりお問い合わせ下さい。なお、発送先は国内に限らせていただきます。  
[販売価格：消費税込み、送料込み]
  - JCOAL会員企業および大学・国研：3.5万円/サンプル
  - JCOAL会員企業以外：5万円/サンプル
- データの取扱について
  - データの二次配布は禁止しています。
  - データ利用の際は出典を明記下さい。
- JCOALコールバンクについてのお問い合わせは、[こちらのE-mail](#)よりお問い合わせ下さい。

JCOAL  
コールバンク

サイトマップ 関連リンク 個人情報保護方針 免責事項 お問い合わせ

(※初めてデータを参照する際は、アンケートおよびメールアドレスのご質問があります。)





## JCOAL 会員募集

JCOAL は当センター活動にご賛同頂ける皆様からのご支援とご協力により運営されております。会員にご入会頂き、事業や調査研究などにご参加頂けると幸いです。御座います。  
※会員企業の方は、専用のウェブサイトのご利用が出来ます。(コールデータバンク等)の他、会員様限定のサービスなどございます。詳しくはホームページをご参照下さい。

(<http://www.jcoal.or.jp/overview/member/support/>)

会員ご入会に関するご質問・お問合せは TEL 03-6402-6106/e-mail [jcoal-pr@jcoal.or.jp](mailto:jcoal-pr@jcoal.or.jp) 企画広報部にてお承りしております。よろしくお願いいたします。



(会員様専用のサイト「コールデータバンク」)

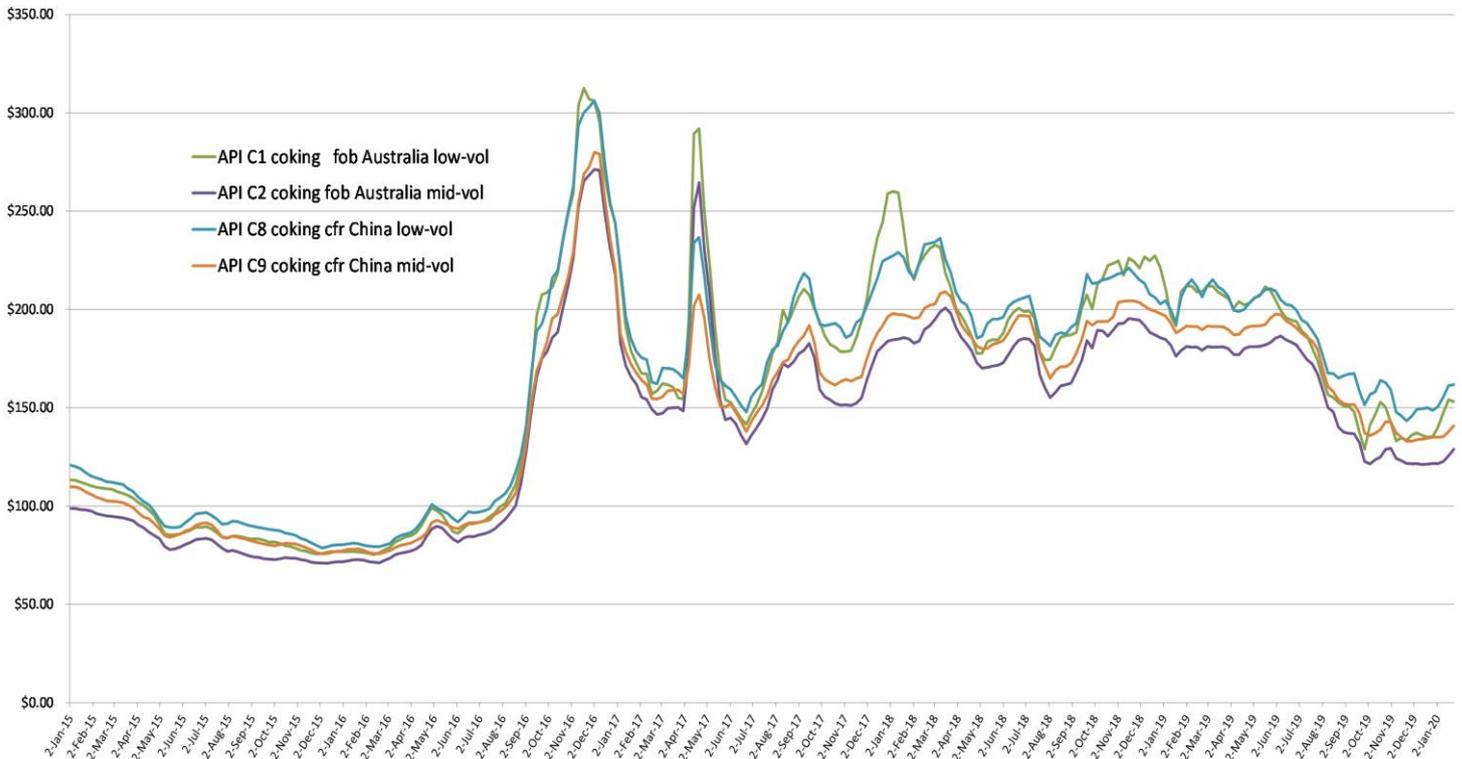
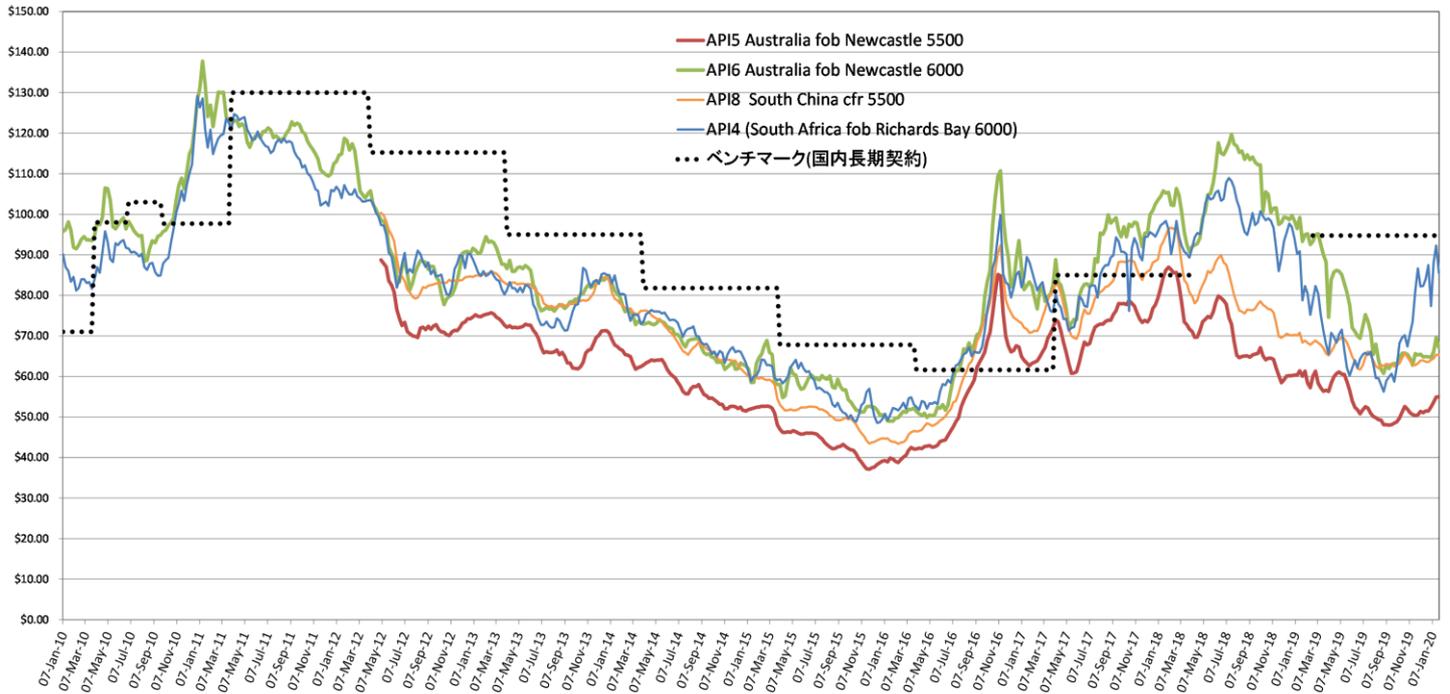




## 石炭価格動向



### Argus/McCloskey's Coal Price Index



## 国内セミナー／会議情報

### 東京大学 エネルギー工学連携研究センター

各開催詳細はこちら→<https://www.energy.iis.u-tokyo.ac.jp/html/seminar.html>

### 一般財団法人 日本エネルギー経済研究所

各開催詳細はこちら→<https://eneken.iecej.or.jp/seminar/index.html>

### 独立行政法人 国際協力機構(JICA)イベント・セミナー情報

各開催詳細はこちら→<https://www.jica.go.jp/event/>

### 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)イベント・セミナー情報

各詳細はこちら→<http://www.nedo.go.jp/search/?type=event>

### 公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)

各詳細はこちら→<https://www.iges.or.jp/jp/research/event.html>



## 国際セミナー／会議情報

### **Investing in African Mining Indaba 2020 (03-06 Feb 2020)**

CTICC, Cape Town, Africa

<https://www.miningindaba.com/Home>

### **10th World PetroCoal Congress 2020 (15-17 Feb 2020)**

NDMC Convention Centre, Parliament Street, New Delhi, 110001, India

[Punit.nagi@ee-foundation.org](mailto:Punit.nagi@ee-foundation.org)

### **Coaltrans India 2020 (17-19 Feb 2020)**

Goa, India

<https://www.coaltrans.com/events/india/Overview>

### **Argus Asia Ferrous Conference (27-28 Feb 2020)**

Bangkok, Thailand

<https://www.argusmedia.com/en/conferences-events-listing/asia-ferrous?>

### **Future of Mining Australia 2020 (23 Mar 2020)**

Sydney, NSW, Australia

<https://australia.future-of-mining.com/>

### **2020 ELECTRIC POWER Conference & Exhibition (14-17 Apr 2020)**

Denver Colorado, USA

<https://www.electricpowerexpo.com/>

### **Coal Processing Technology (CoalProTec) Conference and Exhibit (20-21 Apr 2020)**

Lexington, Kentucky, USA

<https://www.coalprepsociety.org/ViewEvent.aspx?ID=7>

### **Eurocoke Summit (27-29 Apr 2020)**

Amsterdam Netherlands

<https://www.eurocoke Summit.com/>

### **2020 18th Australian Coal Preparation Conference and Exhibition (25-28 Aug 2020)**

Tamworth NSW Australia

<https://www.worldcoal.com/events/2020-18th-australian-coal-preparation-conference-and-exhibition/>

### **MINExpo INTERNATIONAL 2020 (28-30 Sep 2020)**

Las Vegas Convention Center, Nevada, USA

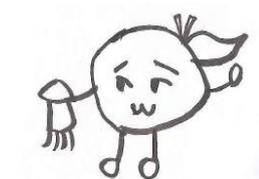
<https://www.minexpo.com/>



— 編集後記 —



編集長・岡本：本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。昨年末に来年こそは 20 キロ走れるようになりたいと宣っておりましたが、正月中に走りぬいてしまいました。目標が低すぎたのでしょうか？自身の年齢を考えるとこれくらいで無理のない程度に、そこそこの距離を走ることが出来れば満足なのですが、もっと上を目指す必要があるのかなのか。自問自答しております。さて、先日観た SF 映画の中に燃料としての石炭が出てきたのですが、果たして今から 2000 年後にまだ石炭は使われているのでしょうか・・・別な使い道を見出す、などでしょうか。



編集・水澤：レシピがちゃんとしている料理サイトなどで、しっかり覚えて再現するというよりも、あまり目的のない感じでザーっとバーっと作って食べる、みたいな番組や動画を見るのが好きです。美味しそうな顔って見ていて幸せになりますね・・・田舎のおばあちゃんが名もなき料理をいくつもいくつも出しまくるというアレ、今なら解りそうな気がします。

**JCOAL Magazine のご感想・ご意見をお聞かせ頂けると幸いです。**

**次号は『JCOAL 担当にインタビュー』、『JCOAL 活動報告』、『国際ニュース』など様々なトピックでお送りします。**

JCOAL の各 SNS アカウント



★Twitter <https://twitter.com/japancoalenerg1>

★Facebook <https://www.facebook.com/japancoalenergycenter/?ref=bookmarks>

★Instagram <https://www.instagram.com/sekitanenergycenter/>

★フォローお待ちしております★

JCOAL Magazine 購読（メール配信）のお申込みは  
[jcoal-magazine@jcoal.or.jp](mailto:jcoal-magazine@jcoal.or.jp) まで E-mail を送信ください

★JCOAL Magazine に関するお問い合わせ並びに**情報提供・プレスリリース等**は [jcoal-magazine@jcoal.or.jp](mailto:jcoal-magazine@jcoal.or.jp) をお願いします。

★登録名、宛先変更や配信停止の場合も、[jcoal-magazine@jcoal.or.jp](mailto:jcoal-magazine@jcoal.or.jp) 宛ご連絡いただきますようお願いいたします。

★JCOAL メールマガジンのバックナンバーは、JCOAL ホームページにてご覧頂けます。

<http://www.jcoal.or.jp/publication/magazine/>

